

指定管理者施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート(令和2年度事業分)

1 施設の概要

施設名	山梨県立科学館	所管課	教育委員会 生涯学習課
所在地	甲府市愛宕町358-1	設置年月日 (改築年月日等)	平成10年7月20日
管理方式	山梨科学推進グループ		
設置根拠 (法律、条例等)	山梨県立科学館設置及び管理条例		
設置目的	青少年をはじめとする県民の科学に対する関心と理解を深め、豊かな感性と創造性を育み、もって教育及び文化の発展に寄与する。		
主な施設内容 (定員等)	○敷地面積:1,194㎡ ○建築延面積:6,497.61㎡ ○建物の構造:鉄筋コンクリート造(一部鉄骨・一部木造) 地下1階、地上3階 ○施設の内容 展示室・多目的ホール・あそびの部屋 2,568㎡ スペースシアター 693㎡(定員180席) 実験・工作室 328㎡ 天体観測室・展望テラス・サイエンスショーブース・エントランス等 2,909㎡		
主な業務内容	1. 利用の承認に関する業務 2. 施設及び設備器具の維持保全に関する業務 3. 施設の利用に関する必要な助言、指導等に関する業務 4. 科学に関する展示及び講演会、催しと王の実施に関する業務		

2 類似施設・近隣施設

名称 施設内容 利用状況等	
---------------------	--

## 3 利用状況

単位:人、%

		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度 (目標値)
利用者数	入館者	154,874	140,703	71,267	162,580
	(うちスペースシアター観覧者)	(48,831)	(49,809)	(23,225)	(67,780)
	(うち学習利用者)	(13,609)	(12,378)	(8,535)	(240,000)
	(参考:主催事業参加者)	(232,828)	(193,369)	(100,357)	(14,700)
	利用者数合計	154,874	140,703	71,267	162,580
	目標値	170,000	182,073	186,640	188,610
	目標値設定の考え方及びその理由	平成30年度実績にグループ内企業の運営施設実績を加味して設定			
	対平成30年度比		90.8%	46.0%	105.0%
利用率	511人/日	486人/日	265人/日	586人/日	

## 4 指定管理業務の収支状況

単位:円、%

		令和元年度 (実績値)	令和2年度 (計画値)	令和2年度 (実績値)	令和3年度 (計画値)
収入	施設利用料	39,301,190	55,620,000	19,214,374	47,948,000
	指定管理者委託料	297,620,000	296,198,000	300,955,079	303,111,000
	その他	20,365,337	21,724,000	18,563,626	21,040,000
	収入合計(A)	357,286,527	373,542,000	338,733,079	372,099,000
支出	人件費	115,684,119	124,530,000	116,143,726	124,530,000
	県への納付金				
	管理運営費	240,710,711	249,012,000	224,023,274	247,569,000
	うち外部委託費(B)	114,394,360	117,800,000	117,098,863	115,000,000
支出合計(C)	356,394,830	373,542,000	340,167,000	372,099,000	
収支差額(A-C)	891,697		△ 1,433,921		
外部委託比率(B÷C)	32.1%	31.5%	34.4%	30.9%	
利用者一人当たりの経費	2,115.2	1,587.0	4,222.9	1,864.4	

5 利用者満足度(アンケート様式は別添のとおり)

実施方法等	来館者、各プログラム参加者等に対する筆記式アンケート調査
-------	------------------------------

単位:%

調査項目	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満
スペースシアター	70.0%	27.0%	2.0%	1.0%
実験教室	75.0%	25.0%		
工作教室	92.0%	8.0%		
あそびの部屋	83.0%	17.0%		
プログラミング教室	88.0%	10.0%	1.0%	1.0%
施設全般の満足度	90.0%	6.0%	3.0%	1.0%

利用者の意見	<p>【管理運営】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・イベントプログラムのネット予約やスマホ・カード決済等の導入の要望。</li> <li>・休止展示の再開や展示設備リニューアルの要望。</li> <li>・飲食スペースの充実の要望。</li> <li>・入館料とプログラムの参加費をそれぞれ徴収するのはおかしい。</li> </ul> <p>【プログラム・イベント】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スペースシアターのシートの改善の要望。</li> <li>・シアター番組のバリエーションを増やしてほしい。</li> <li>・プログラム(実験工作など)とシアターの時間が重なって設定されているのを改善してほしい。</li> <li>・メニューのバリエーションの多様化の要望。</li> <li>・季節イベント等の充実の要望。</li> </ul>
利用者の意見への対応	<p>【管理運営】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ネット予約等の導入の検討している。</li> <li>・休止展示を再開するため、メンテナンスや点検を充実させ、老朽箇所を把握。</li> <li>・飲食スペースの確保のため、中庭テントの設置継続した。</li> <li>・入館料についての質問や意見に対しては、入館料は施設の維持・管理に、プログラムの参加費は材料費であると個々に説明している。</li> </ul> <p>【プログラム・イベント】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・シアターリニューアルを検討している。</li> <li>・プラネタリウム新規番組の制作に取り組む。本格的な星空解説などの大人向けの番組、アニメ系や恐竜など子どもに人気の番組だけではなくイベントとして子育て中の母親向けの番組など特徴ある番組も取り入れている。</li> <li>・受付にて感染症対策のため、シアターの入場時間が限られていること、上映回数が少ないこと、様々なプログラムと時間が重なってしまうことを説明する。また、上映内容を工夫し、上映回数を増やすことを検討している。</li> <li>・プログラムメニューの入れ替えサイクルの短期化を実施した。</li> <li>・季節、イベントごとのプログラム展開に取り組む。</li> </ul>

## 6 評価結果

	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	<p>コロナ感染症対策の徹底に向け、空調換気コントロールや施設の消毒等、安全・安心な施設運営に取り組んでいる。</p> <p>開館20年以上を経過する中で、設備の老朽化も進んでいるため、日常的なメンテナンスや定期点検等を通じて、施設・設備の維持管理を徹底するとともに、県との情報交換により、適切な修繕や設備更新等にも取り組んでいる。</p>	<p>法定点検業務等、施設の管理業務が業務仕様書、業務計画書に基づき適正に実施されている。</p> <p>メンテナンスや点検から得た情報を、日常的に交換することで、計画的な修繕や設備更新につながっている。</p>
運営業務	<p>チェックリスト等を活用し、入館時の検温・消毒・連絡先の確認等の感染症対策を徹底し、安全・安心な施設運営に取り組んでいる。</p> <p>臨時休館の期間には実験工作や天文関連、シアター番組の動画配信に取り組んだ。開館後も継続するとともに、SNSを活用した情報発信等にも積極的に取り組み、コロナ禍での利用者増加を図っている。</p>	<p>運営業務が業務仕様書、業務計画書に基づき適正に実施されている。今後も新しい生活様式における工夫した施設運営に取り組むことで、利用者の増加を図ること。</p> <p>休館中に実施した動画配信やSNS等を利用して科学館の魅力を広く発信する取組は、評価できる。</p>
利用状況	<p>4月5月から臨時休館や再開館後の緊急事態宣言の影響等で利用者数は前年比50%程度と大きく落ち込んだ。繁忙期に大きな比重を占める関東エリアからの利用者の減少も大きな痛手となっている。安心・安全な施設運営をPRし、利用者数の回復を図っていく。</p>	<p>感染症拡大防止のための取組みもあり、目標値には大きく及ばなかった。館の魅力をPRし、広く周知することで、利用者数の回復を図っていくこと。</p>
収支状況	<p>コロナ禍で利用者数が大きく落ち込む中、様々な経費削減に取り組むなど、経営努力を続けたが、大幅な減収となった。このため支出削減により、収支の均衡を図った。</p>	<p>臨時休館等により利用者が今年の50%に落ち込む中、支出削減を上回る収入の減少により赤字となったが、経費削減に取り組むなどの経営努力は評価できる。</p>
自主事業	<p>臨時休館や感染症対策の影響等で一部のイベントやプログラムが中止や延期となった。再開館後は定員数や実施回数の削減等はあるものの、新規事業の開催も含め、積極的な取り組みを進め、利用者の満足度も高評価をいただいた。</p> <p>夏期特別展企画を他館に販売したことで、330,000円の収入となった。</p>	<p>新規事業への積極的な取組は評価できる。今後も、利用者の満足度を高めるとともに、科学への興味関心を深める取り組みを継続していくこと。</p> <p>現指定管理者には、前指定管理者と比較すると、販売権利のあるプラネタリウム番組は少ないが、プラネタリウム番組の販売は、収入につながるため、魅力ある番組作成が収入増につながると捉え、取り組んでいくこと。</p>
利用者満足度	<p>施設、各プログラム共に高い満足度を得ており、2年間の取り組みが評価されていると感じる。一方で、利用者からは電子決済の導入や施設の老朽化、スペースシアターのシートの改善等、引き続き多くの要望が寄せられており、今後の課題として取り組んでいきたい。</p>	<p>感染症対策として利用制限がある中で、施設全体の満足度が昨年と同じ90%であることは、評価できる。引き続き、アンケート回答をもとに魅力あるプログラムを提供することで、満足度を高める工夫をしていくこと。</p>

<p>運営目標の達成状況</p>	<p>新型コロナ感染症対策として、前年度3月から今年度6月1日まで臨時休館の措置が取られるなど、運営に大きな影響が出た。6月の再開館以降も緊急事態宣言の発令等の影響で、入館者数、収入ともに前年予算を大きく下回る結果となった。各種事業についても、中止・延期等の影響が出たほか、スペースシアターで定員削減や消毒対応のための上映回数削減等の対策を実施している状況である。</p> <p>一方、県立施設として、コロナ禍でも安心・安全に利用して頂くことを目標に、換気対策やチェックリストを用いた消毒作業等の感染症対策を徹底している。</p> <p>さらに今後の課題としては、開館から20年以上経過する中で、一般的な耐用年数を超えた設備・機器が多く、故障や修繕が増加する傾向にある。引き続き日常的なメンテナンスや定期的な点検等で、適切な維持管理に努めていきたい。</p>
<p>施設所管課による総合的な評価及び指導事項</p>	<p>日々の維持管理を適切に行い、利用者が安心して過ごすことができる施設を提供することができている。専門性を生かして、点検することで修繕も適切に進められている。令和2年度は、県の長寿命化事業において、空調設備の工事を進めたので、利用者にとってさらに快適な施設になることと思われる。基本協定書により、指定管理者が行うべき金額内での修繕については、今後も積極的に実施されたい。各種事業について、業務仕様書、業務計画書どおり、適正に行われている。</p> <p>令和2年4月1日から令和2年6月1日まで、新型コロナウイルス感染拡大防止による休館があり、6月2日より、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を十分に行いながら、県立科学館ガイドライン及びグリーン・ゾーン認証基準に則った運営を適切に行ってきた。4月、5月に予定されていた事業については、可能な限り開館後に実施するように、調整を行っている。</p> <p>また、外部との連携事業、並びに新規の事業(全天周映像制作講座事業)については、利用者から好評を博しており、内容の充実がうかがえる。</p> <p>県への報告も適切であり、段階的な開館も適切かつ有効に実施されていることを確認できた。小中学校の夏季休業が短縮されたことで、8月の入館者数は大きな減少となったが、9月以降入館者が徐々に増加している。今後も、コロナウイルス感染拡大防止を十分に対策した上で、積極的な広報、魅力ある事業を展開しながら、安心して楽しく過ごすことができる施設として、運営することを心掛けられたい。新型コロナウイルス感染拡大防止による休館中に対応した、実験工作室からの動画配信等が好評であった。一方で、接触型の展示については、利用を制限しているため、現在、利用者から様々なご意見をいただいております。照会内容については、丁寧な回答をしていることを確認した。展示内容については、今後も県と協議の上、進められたい。</p>
<p>施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況</p>	<p>臨時休館中に新規プログラムの開発に取り組み、再開館後の各プログラムのメニューの充実につなげている。動画配信やSNSを活用した情報発信にも注力し、利用者の利便性の向上につなげている。現在休止中の展示等についても、感染症対策を徹底しながら、再開に向けた取り組みを進めていく。引き続き、安心・安全な施設運営を徹底し、利用者数の回復に取り組んでいきたい。</p>

7 管理体制(組織図)

令和2年4月1日現在

